



建交労 2019 年春闘討論集会開催！ 県南支部 3 名が参加し全国に学ぶ

建交労は、11月24日～25日にかけて静岡県伊豆の国市にあるホテル・サンバレー富士見に於いて2019年春闘中央討論集会を開催、北海道から沖縄まで全国から結集した建交労の仲間が中央本部から提起された春闘方針（第一次案）について活発な議論を展開するとともに要求前進と強大な組織建設を実現する決意を固めました。

討論集会は、相木副委員長の開会あいさつではじまり、足立副委員長が進行役をつとめました。

角田中央執行委員長は、主催者挨拶のなかで、**主権者挨拶と問題提起する角田委員長**莫大な金額の収入隠しで逮捕されたカルロス・ゴーン氏に象徴される企業・企業人のモラルハザードと安倍政権の底の見えない腐敗ぶりに触れながら2019年春闘をルールある経済と日本の民主主義を取り戻すチャンスと捉え、たたかひのキーワードを職場からのたたかひと位置付けて実利獲得のための職場での議論を深め、建交労のたたかひ姿を鮮明にするとともに9条改憲や消費税増税を阻止する政治闘争の強化などについて問題提起しました。



主権者挨拶と問題提起する角田委員長



春闘方針（第一次案）を提起する廣瀬書記長

この後参加者は、A・B・C・D・Eの5班に分かれて分散会討論に入り、神奈川県南支部から参加した3人は、金崎書記次長がA班に、赤羽特別執行委員がC班に、清野副委員長がE班に振り分けられて討論に参加し、それぞれの分散会で積極的に発言をしました。

2日目は分散会討論の報告と全体討論を行い廣瀬書記長のまとめ、森谷副委員長の閉会挨拶、角田委員長の団結ガンパローで成功裏に幕を閉じました。

つづいて廣瀬書記長が“安倍9条改憲阻止へ、国民的共同を広げよう 全組合員の要求を汲み尽くした春闘を展開しよう”をメインスローガンとする春闘方針（第一次案）を提起したあと、愛知学童保育支部、関西合同支部福岡協議会、沖縄ダンプ支部、愛知鉄道本部、女性部の5分野からこの間のそれぞれのたたかひや今後の展望などについて特別発言がありました。



団結ガンパローで意思統一する仲間

清野副委員長はE班の討論報告に加え 支部&三昭運輸分会のたたかいを発言

県南支部から参加した3人のなかで清野副委員長は2日目の討論再開後に前日の各分散会討論の内容を報告するE班の発言者を積極的に引き受けたために1日目の夜遅くまで報告内容をまとめる作業をしていました。夕食交流会でお酒が入ったこともあって苦労していましたが、それでもE班での討論のまとめをしっかりと行いました。

その後、集会は全体討論に移り参加者の積極的な討論がつづくなかで清野副委員長は再び討論に参加して神奈川県南支部が年3回行っている企業要請行動や支部執行委員会と合わせておこなっている川崎駅頭での宣伝・署名行動など支部の活動を紹介するとともに三昭運輸分会での県労委闘争のなかでの悪質な社労士を追い詰めるたたかいなどを報告するとともに県労委に対し早期救済命令を求める団体・個人署名への協力を全国の仲間に訴えました。

なお清野副委員長は春闘討論集会後の午後から26日午前中までに開催されている全国トラック部会総会にも佐藤委員長と大島書記長とともに参加をしています。



分散会報告・全体討論で発言する清野副委員長

11/24、25に静岡県伊豆の国市にて開催された2019年春闘中央討論集会に神奈川県南支部から3名が参加しました。1日目は角田委員長の挨拶（問題提起）と廣瀬書記長が提案された2019年春闘方針（第一次案）を踏まえ5班に分かれて2つのテーマ（①全組合員参加の運動と要求闘争、②組織の拡大・強化）にもとづいて分散会討論が行われました。私はE班に配置されましたが、参加したみなさんはテーマに沿って積極的に発言されていて、私は県南支部での組織強化・拡大などについて発言して討論に参加しました。2日目は1日目の各分散会討論の内容を報告するところからはじまり、私はE班での討論のまとめを報告しました。その後、全体討論が行われ、書記長がまとめを行ない、最後に委員長の団結がんばろうで終了しました。2019年春闘に向けて大変良い学習になりました。（清野純平副委員長のコメント）



年の瀬・師走も間近に迫って慌ただしい時期になりますが、2019年春闘の準備の時期としても非常に大切なときです。何よりも春闘アンケートのとりくみを正面に据えて組合員と圧倒的多数の未加入労働者の要求をくみ上げるために全力を上げましょう。

左の写真は会場のホテル2階から見える富士山